

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 46



幕末・戦後の日本に
大きく関わった「門真」

してはら 幣原喜重郎と
くがいのう 薫蓋樟
門真市

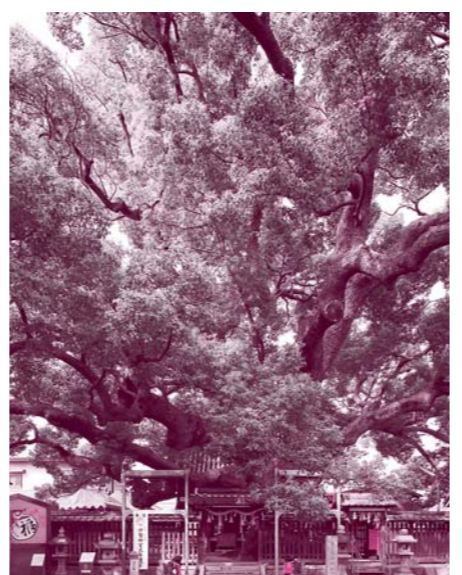
幣原喜重郎は1872年（明治5年）9月13日、大阪府門真一番村（現・門真市）の豪農の家に二男として生まれました。1915年（大正4年）に外務次官となり、戦前、外務大臣を4度務める中で「幣原外交」と言われた国際協調路線を進め、戦後の1945年（昭和20年）に内閣総理大臣となり、「日本国憲法改正案要綱」を発表するなど、現憲法、特に憲法9条誕生に大きな役割を果たしたとされています。

「公直無私」の額は、1931年（昭和6年）、喜重郎が旧門真町役場に寄

贈しました。「公の職に就く者は実直を旨とし、私欲で行動してはならない」という喜重郎の考えを示したものと いえます（複製が門真市立歴史資料館に展示されています）。

また、「三島神社」の境内には国の指定天然記念物「薫蓋樟（くんがいしょう）」と呼ばれる大阪府内で最大の楠があります。名前の由来は、楠の根本に建てられている幕末に活躍した公家・左将千種有文の「村雨の 雨やどりせし 唐土の 松におとらぬ 樟ぞこの樟」の歌碑に基づいています。樹齢1000年超の薫蓋樟は幕末の混乱期や、戦後の日本を今も見続けています。

「公直無私」—幣原喜重郎直筆の額



三島神社—「大阪みどりの百選」で1位！
国の指定天然記念物「薫蓋樟」

Culture Navi かるちなーび

市長退任あいさつで さらにこみあがる怒り

背筋が冷たくなる
「不法アンケート」

「正確に回答しなければ処分する」と恐ろしいことが書かれた、就任直後の市長の直筆入りのメッセージで始まる思想調査アンケートは、1つずつ回答しないと次の設問に移れないという巧妙な手法で作られ、組合運動に熱心にとりくむ人に対して、その人間関係や組合活動に関わるようになったプロセスをしつこく問うもので、私たちの組合運動を抑圧しようとする危険な意図を感じました。このような不当で違法なアンケートが、こともあろうに市長命令で出さ



「スタンダップ」はシンガーソングライターのかわさきゆたかさんが作曲した「思想調査アンケート裁判」の応援歌です。

れたことに対し、背筋が冷たくなる恐ろしさを覚えます。

市長独裁の蛮行を許さない

選挙で当選したことをたてにとり、自らを特別扱いする一方で、職場を独裁下の無法状態に変質させるような蛮行を許すわけにはいかず、この思想調査で被った精神的苦痛をないがしろにしないために原告団に加わりました。あれから早4年が経ち、任期を満了した橋下前市長は所属長会議での退任あいさつで、「違法にならないものは基本的に全部できた」などと述べたようです。さらに怒りがこみ上げてきました。

「思想調査アンケート」裁判
原告59人の決意

スタンダップ

No.36 江田 英明さん

1616ニュースマガジンがえいが



家族はつらいよ

妻が欲しかったプレゼントは…
まさかの「離婚届」!?

「男はつらいよ」から20年、熟年離婚。騒動を巡る新たな一家の物語を山田洋次監督が「東京家族」で一家を演じたキャストを再結集して大きな笑いと共感で包みます！

東京の郊外で暮らす三世同居の平田一家の主・周造（橋爪功）は、行きつけの小料理屋で散々女房の悪口を言って盛り上がり上機嫌で帰宅します。長男・幸之助（西村雅彦）の嫁・史枝（夏川結衣）は酔っぱらっている周造に気を遣いながらも義父の苦言に笑顔で付き合ひ、妻の富子（吉行和子）もまたそんな夫を優しく迎えます。今日が富子の誕生日ということをすっかり忘れていた周造が、誕生日プレゼントで欲しいものを聞いてみると、富子が机から持

ち出してきたのはまさかの離婚届でした。突然の宣告を受け唖然と凍りつく周造。一方、富子はそんなことはお構いなしに冷静に部屋を出ていってしまふ。こうして、平田家の「離婚騒動」は幕を開けました…。

次男の庄太（妻夫木聡）の婚約者の憲子（蒼井優）の「言葉にしなれば伝わらない」の一言に、周造は素直になれません。みなさんの家庭ではどうですか？定年後に大変なことになる前に、妻（夫）に感謝の言葉を伝えることは大切ですね。同じ熟年離婚を題材にした「クーパー家の晩餐会（2月19日公開）」と見比べてみるのも面白いかもしれません。映画の鑑賞券は事業本部を通じて単組でも購入することができます。

心に響くこのひとこと

人生は自分自身がつくるもの
これまで、これからもずっと

グランマ・モーゼス

アンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス（1860年～1961年）はアメリカ人なら誰もが知る国民的画家。通称グランマ・モーゼス（モーゼスおばあちゃん）で親しまれています。貧しい農家に生まれたモーゼスは12歳から奉公に出て、27歳で結婚し働きづめの人生だったそうです。リュウマチで手が動かなくなってからリハビリをかねて油絵を描き始め、本格的に筆を握ったのは実に75歳の頃で、緑の畑や牧場で楽しそうに働く農民や田園生活風景などのフォークアートを描き、101歳で死去するまで約1600点の作品を残しました。

今月の記念日 「千切り大根の日」

2月17日

2011年に乾燥野菜食品メーカーが千切り大根の普及のために制定しました。千切り大根は、大根を天日で乾燥させることで風味豊かな甘みと独自の触感を持つもので、食材として栄養価も高く大変優秀なものです。こうした日本の伝統食である千切り大根の良さを広く知ってもらうことを目的の記念日はまず、大根の生産が最盛期を迎える2月が選ばれました。17日が選ばれたのは、千切り「千」の字を「二」と「一」に見立て、「切」の字の「七」とを合わせて2月17日になったからです。